

# ジャグリング・ワークショップの ご報告



2016年5月11日 (水)  
シリア難民支援担当 柳田純子

# Art Anywhere Associationへの用具寄贈



2016年4月16日と17日の2日間、当会コミュニティセンターにおいてArt Anywhere Association(AAA)のジャグラーによるワークショップを開催しました。その際に、日本ジャグリング協会からお預かりしたジャグリング用具をAAAにお渡ししました。





当会のスタッフも一生懸命練習をしています。

## ワークショップの様子



当会のコミュニティセンターは、トルコ南東部シャンルウルファ県シャンルウルファ市にあります。ワークショップには、シャンルウルファ市内で避難生活を送るシリア難民の子どもたちと、センター周辺で生活するトルコ人の子どもたち34人が参加しました。

## ボール投げ（お手玉）



3つのボールを同時に操れるように練習しました。



風船とブルグル（穀物の一種）でボールを作りました。



## 中国独楽



みんな集中して練習していました。  
独楽回しができるようになって、  
うれしそうに披露してくれました。



## 皿まわし



ボール投げがなかなか思うようにできなかった低学年の子どもに、皿まわしは大好評でした。

## AAAによる ジャグリングショー



AAAの3人のジャグラーによるショーは、コミュニティセンター前の通りで行われました。

3人のジャグラーのうち、2人はトルコで避難生活を送るイラク難民の兄弟です。普段はトルコ東部ディヤルバクルの難民キャンプで生活しています。ジャグラーになったきっかけは、難民キャンプ内で行われた、AAAのジャグラー育成プログラムでした。現在、月に1度のペースでジャグラーとしてトルコ各地を訪問しています。



15分ほどの短いショーでしたが、ワークショップ参加者、ご近所のトルコ人、シリア難民全員でショーを楽しみました。

## 子どもたちの笑顔



コミュニティセンターには、さまざまなシリア難民の子どもたちがやってきます。シリア時代のトラウマから、大きな音に怯える子、学校に行きたくても行けない子、親兄弟と離れて生活している子・・・センターに通い始めた当初は、表情の硬かった子どもたちも、センターのイベント、講座に定期的に参加することで、センターを安心できる空間だと思えるようになったのでしょうか。子どもたちは笑顔を見せてくれるようになってきました。



子どもたちの笑顔が途絶えることのないよう、  
AARは今後もシリア難民支援を継続していきます。  
これからも、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先：特定非営利活動法人 AAR Japan[難民を助ける会]  
担当者名 山田かおり、柳田純子  
Tel: 03-5423-4511 email:staff@aarjapan.gr.jp